

仙人通信 212 倉戸山(1169m)

倉戸山は、雲取山から南東に伸びる石尾根上にある鷹の巣山から、南に延びる尾根上の山で奥多摩湖に一番近いピークであり、二等三角点の山でもある。

最近発売された日帰りベスト 130 の本に熱海トンネルからスタートし、女の湯バス停へ下山するコースが紹介されていたことから、ダム北側のトンネル出口にある駐車場に車を置き、このコースを踏襲し女の湯バス停から国道を歩き車に戻る事とした。

湖畔沿いの国道 411 号から水面を眺めながら 12 分程進むと、熱海トンネルだ。この左側に倉戸口バス停が、又小さな倉戸山を示す標識がある。アスファルトの道をトンネルの上まで進むと小河内荘と書かれた小さな旅館、更にバス停から 10 分程に道標だ。ここでコースは、V 字状に曲がり 5 分程で温泉神社である。小さな階段から始まる登山道である。杉・檜等の木々の間を 10 分程進むと小さな沢があり、落葉樹の中に作られた丸太の階段だ。日当りの良い明るいコースとなり、眼下には梢越しではあるが濃紺の湖の水面や御前山だ。訪れる人も無いのだろうか、登山道は枯葉が 10 cm 以上も積もっており、足元を確保しながら 15 分程でやっと尾根に出る事ができた。西側は檜等の針葉樹林で、下木にアセビも多い。コースは一面に水檜の林で、登山ルートに沿って張られた 3 mm 径程のロープがあるも、枯葉で埋もれており、気が抜けない。更に 10 分程登ると西側の針葉樹林も終わり、三頭山の尾根の先に白く雪化粧した富士山の山頂が僅かに望めた。2 本目のロープも終り、7 分程で水根沢からの尾根と合流する。幅 1m 程の狭い尾根コースとなるも、直ぐに山頂を目指す九十九折のコースとなる。先日降った雪があり、アイゼンを使うか迷ったが・・・。

雪を避けて進むと、枯葉の中に木の実を探す 10 頭程の猿が目の前に・・・小生同様に山頂を目指し進む。25 分程で山頂に立つ事ができた。広い山頂には道標と二等三角点があるも、どこの山にもある山頂と書かれた標柱見当たらない？・・・ガイドには展望が良好とあるもブナの枝に 360° 囲まれた山頂である。北側には六つ石・鷹の巣・七つ石・雲取・飛龍が、南西側には深山橋の先の白い塔を持つ大寺山そして上には大菩薩や奈良倉山だ。更に三頭山との間には白く化粧した富士山が 8 合目まで顔を出している。又南側には御前山と 360° の山並だ。休憩後、女湯に向かい下山である。コースは水檜林のかなりの急斜面で、ほぼ真つすぐ張られた前述同様のロープだ。風が落葉を飛ばしてくれたコースで、露出した木の根と幹を頼りに下降である。10 分程でロープが無くなり、踏み跡と赤い境界を示すコンクリートの標柱を頼りに 15 分で東側が檜林となる。その縁を 15 分程進むと落葉樹林に入替わりアセビや檜の狭い尾根を 10 分程で最後の小さなピークだ。落葉に埋もれた九十九折を進むと湖畔の先端に出て 20 分で女の湯のバス停がある国道に下山できた。群青色に輝く湖面を眺め、歩くこと 50 分で車に戻った 4 時間 30 分(19600 歩)の山旅でした。(R3. 2.5)

温泉神社



山頂



梢越しの山頂



奥多摩湖

